

妊娠中・出産後も安心して働く

「妊娠中や出産後も安心して働きたい」そう思う女性が増えています。今は、働く女性の母性を尊重し、仕事と妊娠・出産との両立をサポートする法制度があります。こうした制度を活用することで、働く女性のマタニティライフが充実し、暮らしやすい社会づくりにつながります。

Q 仕事があっても、妊産婦検診を受けに行けますか？

A はい！事業主は、妊産婦の女性労働者から健康診査を受けるための時間の確保について申出があった場合には、必要な時間を確保できるようにしなければなりません。 (男女雇用機会均等法第12条関係)

Q 具合の悪い時や疲れた時に、休憩時間を長くしてもらうことはできますか？

A はい！医師から休憩をとるよう指示を受けた女性労働者から申出があった場合には、事業主は休憩時間を長くしたり、回数を増やしたりするなどの対応をとらなければなりません。 (男女雇用機会均等法第13条関係)

Q 残業や深夜業、休日出勤を免除してもらえますか？

A はい！妊産婦が請求した場合には、時間外労働、休日労働または深夜業をさせることはできません。 (労働基準法第66条第2項、第3項関係)
※深夜業とは、午後10時から午前5時までの間の就業のことをいいます。

【2年目の女性学】 - ご来場お待ちしております -

映画「スタンドアップ」

「ひとりでも闘い抜く！」全米で最初にセクシャルハラスメント訴訟に勝った実在の女性をモデルにした感動のドラマ！

▼日時 7月6日(土) 14時～
▼場所 高島市働く女性の家
▼料金 無料
☎ ゆめぱれっと高島 ☎ (22)5775



☎ 市民活動支援課 ☎ (25) 8526



豪雨災害に備え、マキノで住民避難訓練

6月の土砂災害防止月間に合わせて、6月2日(日)、平成25年度土砂災害全国統一防災訓練が行われ、高島市では、土石流危険渓流区域に指定されているマキノ町石庭地区を対象に、土砂災害防災訓練を行いました。集中豪雨により土砂災害の危険性が高まったとの想定で、午前8時45分、石庭地区の住民に避難準備

報が発令され、住民らは一時避難所である草の根会館に集合。午前9時15分には避難指示が発令され、住民らはおおよそ1キロ離れた広域避難所のマキノ西小学校へ徒歩で避難しました。避難先となったマキノ西小学校では、滋賀県の防災ヘリによる重篤患者の搬送訓練のほか、土嚢づくりなどの水防講習や砂防出前講座な

どが行われました。今回の訓練には、石庭地区の住民をはじめ、警察、消防、自衛隊、行政等の関係機関や地元自主防災組織などおおよそ180人が参加。訓練を通じて、それぞれが避難時の連携等を確認しました。

☎ (25) 8133



youtube



交通事故発生状況

☎ 高島警察署 ☎ (22)0110

(平成25年5月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	71件	-6件
死者数	2人	-3人
傷者数	97人	-10人

発生場所

発生場所	件数
マキノ	6件
今津	13件
朽木	3件
安曇川	15件
高島	11件
新旭	23件

火災・救急・救助件数

☎ 消防総務課 ☎ (22)5401

(平成25年5月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	1件	10件
車両	0件	0件
林野	0件	0件
その他	2件	6件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	21件	85件
一般負傷	37件	170件
救急	116件	664件
その他	12件	80件

救助	件数	累計(1月~)
火災	2件	5件
交通事故	3件	7件
水難事故	0件	1件
その他	1件	8件

環境放射線測定結果

☎ 原子力防災対策室 ☎ (25)8133

5月平均値(平日測定)

マキノ (マキノ支所前駐車場)	0.068 μSv/h
今津 (今津支所玄関北側)	0.056 μSv/h
朽木 (朽木支所前駐車場)	0.061 μSv/h
安曇川 (安曇川支所裏駐車場)	0.036 μSv/h
高島 (高島支所裏駐車場)	0.059 μSv/h
新旭 (市役所北側玄関前)	0.057 μSv/h

※測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。

職員給与の削減と、組織力アップに向けて

本年度、国から地方へ交付される地方交付税総額のうち、地方公務員給与分として約7,800億円(一般財源分)が削減されることとなり、当市の影響額に置き換えますと約1.9億円が減額される試算となります。

この背景には、昨年度国家公務員給与が先行して、平均で7.8%削減されたことにより、地方公務員のラスパイルス指数(国家公務員給与を100とした時の地方公務員の給与水準)が高くなったことから、各地方自治体で給与削減に向けての主体的な対応が求められていた経緯があります。

スパイルス指数(平成24年4月時点が103.5%となつたため、国の給与水準を上回る3.5%の削減はやむを得ないと判断し、自身の給与の10%削減も含め、6月定例会に給与削減に関連した条例改正案を提案させていただいたところです。

こうした状況の中で、市民の皆様とお約束した政策を実現していくためには、今以上に職員一人ひとりが気概を持って職務に専念し、市役所全体の組織力を高めることが重要になってまいります。市民の皆様にも、こうした現状をご理解いただき、一層の市政運営へのご協力と参加をお願い申し上げます。

福井正明

市長雑記

